

令和5年

# はたちの集い



1月8日、民法改正に伴う名称変更後で初となる「島田市はたちの集い（旧成人式）」がローズアリーナで開かれました。

式典には、20歳を迎える若者741人が振袖や袴・スーツ姿で出席。代表の2人が、はたちの誓いを述べました。その様子は、島田工業高校情報電子科放送技術班の協力により、ライブ配信で公開しました。

式典後は、市内出身アーティストによるアトラクションが披露されました。舞台上に立ったシンガーソングライターのリージャさんと津軽三味線奏者のハレルヤさんは、それぞれの表現で若者たちの門出を祝いました。



島田工業高校情報電子科放送技術班の生徒

リージャさん

ハレルヤさん

感謝の気持ちを伝えて  
行動していく



くぼた 颯音さん  
(川根中学校出身)

**さ** まざまなつながりで、私たちは生きており、そのような中で、何回も感謝の気持ちを持ってきたと思います。ただ、その感謝を伝えてきたでしょうか。行動に移したでしょうか。私は振り返ったとき、できていないと感じました。

大学では、学生主体のボランティアサークルに所属しています。最初は一参加者でしたが、自分が企画運営をする側になった時に、その大変さを知りました。同時に、参加者だった時、運営側に感謝を伝えなかったことを強く後悔しました。私たちは、人が居なくなったり、活動が終わったりしてはじめて、感謝の気持ちに気付くことが多いです。しかし、伝えられるのはその場の瞬間しかありません。だから、感謝を感じたら早めに伝えましょう。また、伝えるだけでなく行動することも重要です。これからも自分と向き合いながら、感謝の気持ちを伝え、行動していきたいです。





**私** たちは、思い出や人生の分

岐路でもある高校3年生の大切な一年を「自粛」という形で過ごしました。卒業後、市内に就職することを心に決めていたため、直接的な不安はありませんでしたが、進学などで県外へ出る友人にどうしたら寄り添えるだろうかと、悩んだ日もありました。

民法の改正により、昨年4月からすでに大人の仲間入りをしています。成人してできること、してはいけないこと。何に守られていて、何に責任が問われるか、複雑な場所に立っています。時代の変化に対応しながら、乗り越え、この「はたち」という節目の年を迎えられたことを、心からうれしく思います。そしてさまざまな人と巡り合い、支え合ったからこそ今があるのだと強く感じます。私を育て、豊かな自然と温かい人とで包み込んでくれた大好きな街に、明るくさわやかな風を呼び込めるよう、感謝と学びを忘れず生活していきます。



あしざわあすさ  
芦沢梓さん  
(北中学校出身)

大好きな街で

学び・暮らす

